

定価 50円 (会費に含む)

活動日誌

2014年7月～9月

* 全体行事

ダリア祭 7/10(木)
海水浴 7/31(木)

* ダリアの郷支援センター

全体ミーティング (毎月第2火曜日) 7/8、8/12、9/9
卓球レク (毎週金曜日) 7/4.11.18.25、8/8.22.29、9/5.12.19.26
カラオケレク 8/26
スポーツレク 農試公園 7/22 (火)、風船バレー 9/30(火)
ボールペン習字 7/3.15、8/5.21、9/2.18
読み書き勉強会 7/17.24、8/7.28、9/25
パソコン教室 7/4.7.11.14.18.25.28、8/1.4.8.11.18.22.25.29、9/1.5.8.12.19.22.26.29
平和学習会 8/8(金)「集団的自衛権を学ぶ」
ビデオ上映会 8/19(火)「そして父になる」
五天山公園 8/23(土)
喫茶の集い 7/15 (火)、8/29(金)

* 共同作業所HAPPY

西区民センターバザー 8/18(月)、8/19(火)
手稲区民センターバザー 9/16(火)～9/18(木)
HAPPY学習会 9/11(木)「精神科病転換型居住系施設」について
にこにこ祭り 9/13(土)

* グループホーム

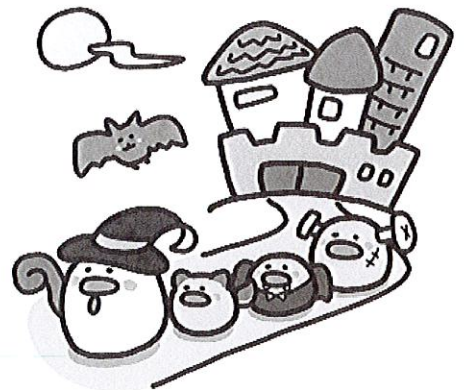
サポートセンター「和」定期点検 7/18・8/22・9/26
【若根荘】 誕生会 7/23(水)・食事会 9/15(月)
【マゼル】 本家・分家 引越し 8/20(水)
【結】 誕生会 9/18(木):『焼肉ダイニングすみか』にて
【ひなた】 合同誕生会 8/19(火)・食事会 バーベキュー 9/26(金)
【ぽぷら】 なし

* 会議・学習会

スタッフ学習会 7/23(水)
関係者会議 8/9(土) 初任者研修 8/9(土)

* 関係機関主催行事

道回連総会 7/6(日)
道生連焼き肉班会議 7/21(月)
生活保護基準引き下げ一周年行動 8/1(金)
STOP! 精神科病棟転換型居住系施設集会 8/11(月)
支援する会理事会 8/23(土)



みんなのコーナー

『希望』

丹羽裕子

どんなに苦しい時も、

あきらめないで

夢を追い続けていこう

夢を捨てた時は

自分の成長も止まってしまふ

人は進歩する生き物だから

可能性を信じて

色んな事にトライしよう

いつしか人に

認められる時が来るから

はじめまして、**高坂 伊敷** 48才です。ギャンブル依存症もあり皆と遊ぶことが少ないのですが、ダリアに来る事はうれしいです。スポーツや釣り、料理が好きです。

新しいメンバー

紹介

脇川 洋文さん

今年8月4日からグループハウス結に入居しております。朝と夕の食事(特に肉料理)がおいしいです。皆さんよろしくお願ひ致します。

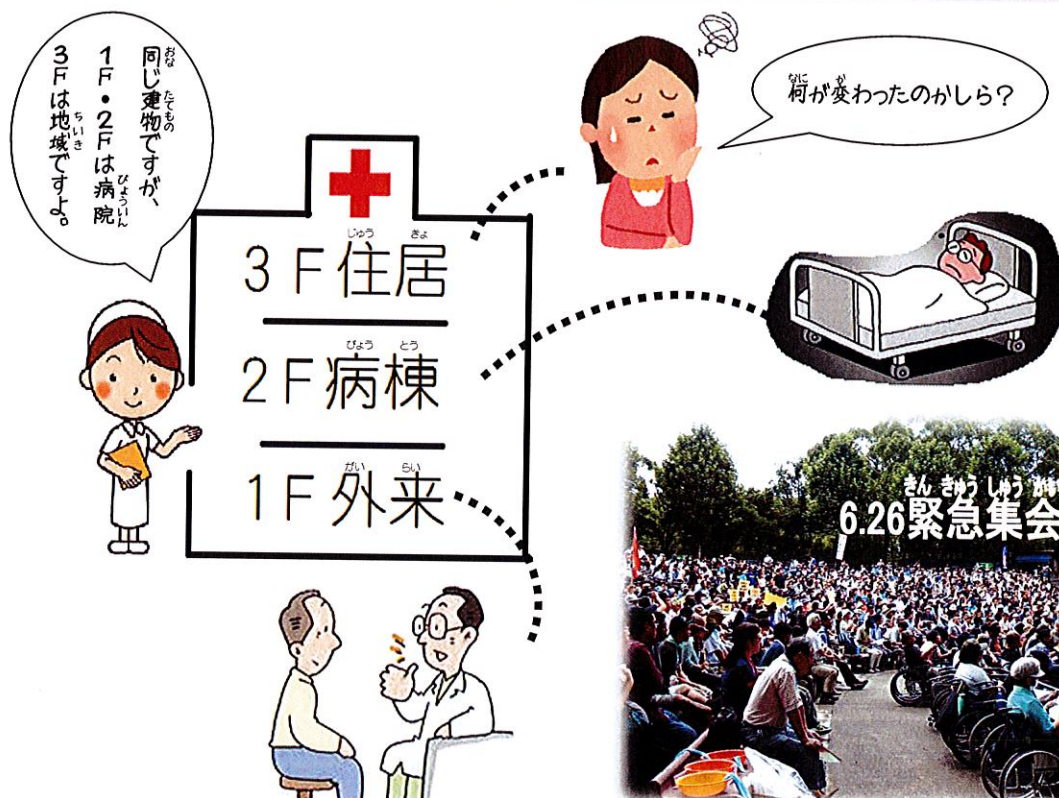
スタッフを紹介!



今年の3月にダリアの郷支援センターでスタッフとして働き始め、現在はずーハウスぼぶらの世話人として働かせていただいております。毎日がメンバーさんと楽しく賑やかに過ごしております。これからもよろしくお願ひ致します。

「精神科病棟転換型居住系施設」を考える

共同作業所・HAPPYで9月11日に学習会を行い、施設についての理解を深めました。その感想の特集です。



厚生労働省に設置されている「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に関する検討会」は、7月1日の第4回会合で、精神科病棟を居住施設に転換し、長期入院者の地域移行を進める方策を試行的に実施することを取りまとめた。この厚生労働省の動きに対し、6月26日東京日比谷野外音楽堂に、北海道、南は沖縄と全国から障害当事者・家族・支援者をはじめとする約3,200人が緊急集会に駆けつけ抗議の声を挙げた。

振り返れば、精神障害者の長期入院は社会的入院者と呼ばれ、病状は入院治療が必要な状態ではないが、地域で暮らすための住む場所や支援体制が整わない為に、10年、長い人では40年以上入院が継続されているという異常な事態が問題視されていた。ここに至り、長期入院者が地域で安心して暮らしを実現するためにはどうしたら良いかという根本的な検討が不十分のまま、空いた病棟をグループホーム等の居住施設に利用するといったすり替え議論に当事者が怒りの声を挙げた。

長年の精神障害者隔離政策への反省を忘れ、過ちを繰り返すことにつながりかねないこの方針の撤回を強く求めます。(支援する会理事 片山和恵)

と

んでもない話だ。バカげてる。反対すべきだ。STOPするべきだ。何でもこんな話が出てきたのか。病院経営のため以外のなにものでもない。受け入れがないのはしかたがないが、他に手段があるはずだ。日本が精神科のベッドが多いのは初めて知った。長期入院が多いのも初めて知った。安定している人もいるのにとんでもない話だ。世界がダメだと言っているのに何年たってもかわらない。どうなっているのか。(岸山周司)

今

回学習した物がどれ程大事な事なのか。それは病院や役人の都合優先で、肝心の当事者である私達や、患者の声を無視している事。形を変

学

習会に参加してみて、国は自分にとって都合のいいことばかりで、当事者のことは全然考えていないと改めて思った。障害者権利条約を無視していると思った。日本は社会福祉関係は本当に世界の中でとても送れていると思う。何十年かあれば日本の国民達にとって住み良い国になるのでしょうか。(内城雅仁)

看

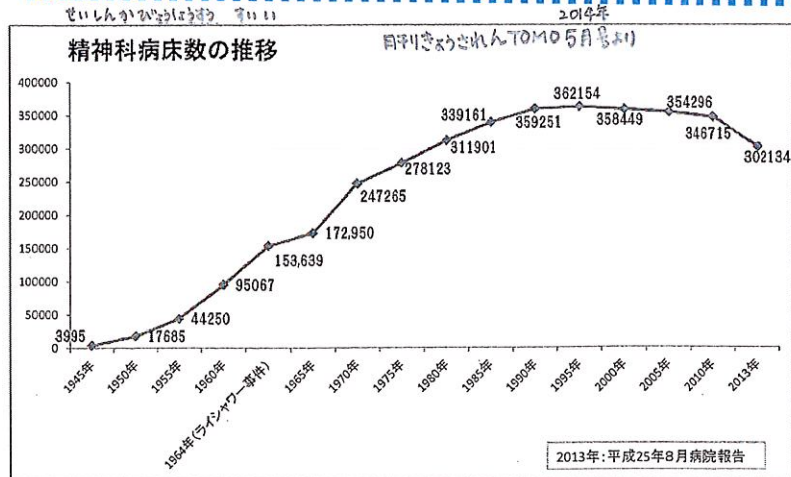
板のかけかえに過ぎないのではないかと思う。病棟を居住スペースに変えるとの事だが、本当に個々人のプライバシーが守られるのか疑問。(井上大朗)

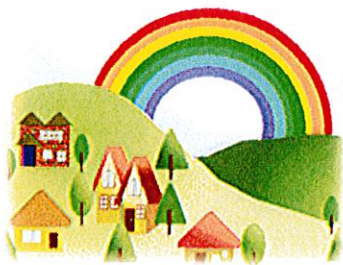
米村スタッフと田中理事が6.26緊急集会に参加しました



精

精神科病棟転換型居住系施設を勉強するまで、『そういう施設ができるんだ』と、ただ思うだけでしたが、検討会のありかたなど、不安、疑問が残るため、是非とも見直しをしてほしいと思いました。(水沼理恵子)





ま

最初は精神病院に住むのは嫌だということです。私が入院していた時も、いずれは自立して生きていきたいと強く感じていました。今グループホームにいますが目標は一人暮らしをする事です。こんな所に住みたい等とかんがえることもありま

私

は入院経験から、病棟のグループホームに入りたいとは思いません。地域で暮らしたいです。でも精神科病棟にはいろいろな人がいるし、病状も様々なので、もし転換型居住系施設に入居したい人がいるのであれば、新設するのは良いと思います。(池田景子)

私

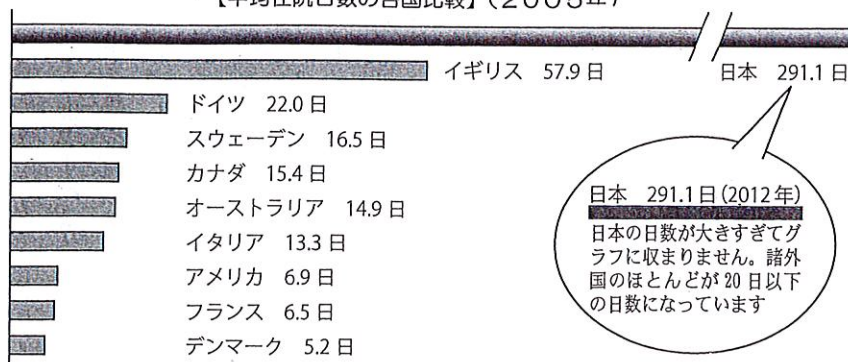
の病院でも、長期入院で10年〜15年退院しないで開放病棟の中で生活している人達がいいます。

地域のグループホームに、長期入院の患者さんを受け入れてほしいと思います。(斉藤麻実)

に

ゆういんはしたくない。(勉強できてもよかった。みんなのおがみられてよかった。はんたいしたい。)(木元新一)

【平均在院日数の各国比較】(2005年)



日本 291.1日(2012年)
日本の日数が大きすぎてグラフに収まりません。諸外国のほとんどが20日以下の日数になっています

〈OECD Health Data 2008「2005年診断分類別精神及び行動の障害」より〉

2014年
月刊きょうせん 76M 5月号より

精

神科病棟転換型居住系施設に反対です！私たちのことを私たち抜きで何でも決めてしまおうとする政府には、本心に腹が立ちます。私たちに

こ

の制度も良いところもありますが、私の考えとしては賛成ではありません。私はグループホームを中心にして、あくまで病院とは別の住宅として建てた住宅に住みたいと思います。10年以上長期入院されている7万人の人たちの中の一

精

精神科病院の病院経営のた

めと、受け入れ先がないために、日本の入院患者33万人、長期入院7万人。入院患者をバカにしていると思いた。 (吉岡政信)

私

たちのことを私たちがぬき

で進められているこの制度について、国が私たちを差別しているとしかしいようがない。僕は主治医から「グループホーム（GH）でない」といわれ、病院経営のGHには入居させてもらえず、自分で電話してリストにあるGHを探しました。権力をかざす医療関係者は患者の事をまるで考えていない。これからが私たちの戦いが又始まるのです。ガンバリましょう。(高坂千秋)

精

精神科棟 転換型 居住系

施設について、私は反対です。私はそういう病院にかろうとは思いません。又、友人、知人をそういう病院に紹介しようとは思いません。(五十嵐満)

国

にお金が無いか病院側

の事情とか聴いていると合理的なプラン。でも、それでも彼らに伝えなきゃいけない!! 私達はどこが悪かろうがあなた達と同じ人間だ!! 故に人権がある。今の国はそれをないがしろにすると言うなら伝えていこう。「私たちのことを私たちがぬきできめないで」(山田琢也)

私

が2度目の入院をした

時はまだ20代の頃です。4年間という長期入院となりました。今のように受け入れ先もなく、自分で主治医に回復している事を訴え、住み込みの仕事のみつけて退院までこぎつけました。この時にもし院内にグループホームができるような施策が実施されていたらと思うとゾツとします。まだまだ受皿が少くないと言われています。社会保障全体の充実がなければ、この国は救われません。人権を無視した施策には反対です。(伊藤勇人)

私

は支援する会に入所して

いる互野です。精神科棟 転換型居住系施設について私は反対します。病院には、色々な理由で長期入院をしているひとがいます。病院運営がきびしいから、病院の中にグループホームを作るといふ話を持ち上がっているのですが、補助金を上げるよう、国会議員の皆様ががんばっていただいて、私達が暮らしやすい社会を作ってもらいたいです。(互野利弘)



初めて参加した海水浴は、
久しぶりに海で泳いだの
で気持ち良かったです。
また来年も皆で行きたい
です。ありがとうございます。
(高坂千秋)

フランクフルトがおいし
かった。あと、水遊びがで
きて良かった。来年もい
きたい。
(大井久美子)

海水浴は何十年ぶりになり
ます。普段出不精な私です
が、久しぶりに命の洗たくが
できまして気分は上々でし
た。(橋本浩文)

楽しめるか不安でしたが、
以外に楽しかったです。スイ
カメツチャ美味しかった。あ
と、Nさんを海に投げました
(笑)。また参加した時はお
願いします。(森勉)

初めてドリームビーチに行
きました。去年夏からタリ
アの郷支援センターにいて
1年ぐらいいになりました。皆
さんのお陰です。
(中田彰)

今回の海水浴は、数年ぶりの
海でした!天気が良かったの
もあり、海に足をつけた時、
とても気持ち良かったです。
楽しかったあ▼
(米村敦子スタッフ)

初めての海水浴でしたが、
お天気に恵まれ楽しい時間
が過ごせました。夏はやっぱ
り海だなあ!!と感じた一日で
した。
(中村晴美スタッフ)

私は素直に仲間がいて腹の
底から沢山笑い、息子のメッ
セージを想って胸が熱くな
った。『ポジティブ』を肌で感
じることができました。
(宮本弘恵)

自分の「雨女」のジンクスを
吹き飛ばした、ものすごいよ
い天気で良かったです。泳い
だ人も足だけ入った人も皆
重心に返って大満足でした。
(松崎マサ子スタッフ)

※今年初めて海水浴レクに参加した人の感想です。



7月31日(木) 海水浴 in 小樽ドリームビーチ

メンバー39名、スタッフ・ボランティア20名、幼児2名、総勢61名の参加でした。海の家『はまなす荘』での昼食やスイカ割り、宝探し、ビーチボールも楽しみました。



ダリアの郷支援センターだより

8月23日(土)

五天山公園でバーベキューを満喫!

焼きマシュマロ、大好評でした。



バーベキューでは高坂さんや、内城さんがバランスよく肉や野菜を焼いてくれて、おいしく食べる事が出来ました。また行きたいです。(吉田伸)

今年初めて、五天山公園レクに参加しました。当日朝は天気が悪くなくて心配でしたが、晴れて楽しいバーベキューが出来て良かったです。(宮崎砂和子ボランティア)

9月16日(火)

『昭和のカラオケ』
レーザーカラオケが大活躍♪

『昭和のカラオケ』に参加してつくづく曲目が古いなあと思ったけれども、平成よりも昭和の方が歌や時代が良かったと思う。

世の中が安定していたと思う。
(高橋千佳子)



ハイ、じゃあ次、A(面)5番でヨロシク!



ハイよ。

カラオケは、皆上手でした。楽しかったです
(白山志津恵)





グループホームのページ

今回のテーマは...
「最近のできごと」です!



マゼル

マゼルが^{だい い どう}大移動しました(笑)。支援する^{し えん}会から徒歩7分の所に引っ越ししました。引っ越しを通してたくさんの方々^{か た が た}に協力していただいたこと、大変感謝しております。笑顔のある生活^{し ょ}を作ることでお礼の気持ちとさせていただきます。(マゼル一同^{いち どう})

ひなた

8月は入居メンバー2名の誕生月で、前回は二度に分けてお祝いをする意味でそれぞれ別々に行ったが、今回は話し合いの結果合同で誕生会を開催する事となった。誕生ケーキの代わりのピザの一人一枚は思いの外、好評だった。(スタッフ:板谷^{いた や})

マザーハウスぽぷら

今、ぽぷらでは、^{ひ ょ う}ダイエット、美容、ファッションにはまっています。板橋さんはあと-3kg目標!!丹羽さんはスカートにこだわっています。戸澤さんと加我さんは、部屋でファッションショーをしています。(ぽぷら一同^{いち どう})

グループハウス結

8月は脇川洋文さんの入居、三上さんの退院と続き、久しぶりに7名満室となりました。個性ある7名が居心地よく安心して暮らせる場所を時に遊びながら作っていきましょう。まずは9月、焼肉で交流だ!(スタッフ:山田^{や ま だ})

若根 荘

日が暮れる早さに秋の深まりを感じるこの頃食欲の秋を満喫している若根荘では食事担当の池田さんの食事をいつも完食。二年ぶりの一泊旅行も企画中ですが、料理のこだわりでなく社会見学も入れた楽しい旅行にしたいと考えています。(スタッフ:松崎^{まつ ざ き})

「マザーハウスぽぷら」の外観



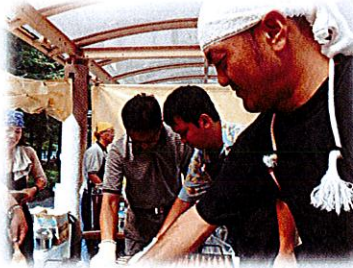
女性4名の住居です。ダイナールームは陽当たりが良く、苅草での会話が弾みます。

共同作業所HAPPY



やりがい

7月から毎週水曜日、「元気ショップ」の隣のシヨーウィンドーを清掃するお仕事をしています
 ガラス拭き、雑巾がけ、掃除機かけなど、地下鉄駅コンコースの蒸し暑い中、汗だくでがんばっています
 普段から念入りに作業所での掃除をしてきたことが生かされ、自信にもつながりました。
 この仕事は9月で終わりますが、みんながやりがいを持てる仕事ができるよう、メンバー・スタッフともに願っています。



にこにこ祭り

9月13日(土)、福祉バスに乗って、厚別ふれあい公園で行われた「にこにこ祭り」に参加しました。祭りを通じて利用者、作業所間の交流を深め、作業所のことを市民に知ってもらおうと、5年前から行っています。
 広い公園に、模擬店、各作業所の商品、遊びコーナーがステージを囲みました。
 HAPPYは模擬店で、焼きそば、フランク、綿あめづくりの手伝いをし、「忙しかったけど、楽しかった」にこにこの一日でした。

「障害者権利条約」について、きょうされん専務理事藤井克徳さんのお話を聞きました。日本が今年1月に批准した「権利条約」を絵に描いた餅にしない為、私に出来る事は学習と、〈相手を尊重する「人権」の感覚を養うこと〉だと思います。特集『精神科病棟転換型居住系施設』は読んでいただけましたか？「病院内に住居をつくり退院とみなす」、これは精神科に入院している人の人権を尊重する事なのか、権利条約に反してはいないのか。「権利条約」を柱にすえ、障害があってもあたりまえの暮らしができる社会にしていきましょう。(藤原)